

執 務 日 誌

期日	①令和8年7月22日（低学年） ②令和8年7月29日（高学年）	会 場	第二コミュニティセンター 2階 造形創作室
講座名	夏休み絵画教室	学習時間	①午前9時00分～11時30分 ②午前9時00分～12時00分
講 師	詩季彩クラブ4名：田村尚子、林茂子、金井賢一、生松茂樹	参加 者	①7月22日（木） 7名 ②7月29日（木） 12名
主催者	第二コミュニティセンター	記 録 者	所長 梨木 章広
結果概要			
【 開催準備 】 ・4月12日（日） 「詩季彩クラブ」に絵画教室の講師を依頼、日程の相談。 ・5月15日（金） 文書管理システム起案 （同日、課長決裁） ・5月20日（水） 講師依頼文交付 ・7月1日（水） すぐーる配信：16:30に中川小全児童。募集期間は7/2～7/17。 同日、市ホームページに募集記事の掲載。 ・7月8日（金） 中川小学校新井教頭から「夏休み図画工作の募集案内」を受領。 【絵画教室】 <開始前> 前日17:00 ～ 17時30分 会場準備（新聞紙、イス、会場表示、第二集会室イス8） 8時30分 ～ 会場設営（配布資料、受付、名札、会場案内、ごみ袋） 8時45分 講師（詩季彩クラブ）到着。段取りについて軽く打ち合わせ。 8時45分 ～ 9時00分 受付（出欠欄にマーカー、名札渡し、描く絵の確認） <低学年：7/22> 9時00分 ～ 9時05分 開始式（講師挨拶、事務連絡等） 9時05分 ～ 11時15分 終了、片付け。講評。アンケート回答 <高学年：7/29> 9時00分 ～ 9時05分 開始式（講師挨拶、事務連絡等） 9時05分 ～ 11時45分 終了、片付け。講評。アンケート回答 ＊ 低学年・高学年とも、保護者の迎えに応じて解散。高学年は講師から全体講評あり。 <配布資料> ・レジメ「上手に絵を描くコツ」「水彩画をぬってみよう」「ポスターをぬってみよう」 ・夏休み図画作品募集案内（中川小） ・A4白紙 <当日用意>			

- ・新聞紙（下敷き用）、空き箱（消しゴム用）、雑巾（筆拭き用）、Ｔペーパー（拭き取り用）、メモ用紙（試し塗り用）、アンケート用紙

＜参加者名簿＞

別紙２

＜記録写真＞

別紙３

＜アンケート結果＞

別紙４

＜講師礼状＞

別紙５ （詩季彩クラブあて、中川小学校長あて） アンケート結果を同封。

所 感（反省点）

＜募集状況＞

- ・募集期間は 7 月 2 日から 7 月 17 日まで約 2 週間。すぐーる（中川小）配信、HP 掲載。申込方法は、窓口、電話、FAX により、順調に応募が集まった。
高学年は早々に定員に到達（定員 12 名）、更にキャンセル待ち 2 名。
低学年は 7 名（定員 12 名）のみの応募であった。
- ・学校別でみると、中川小 6、附属小 6、城東小 3、下川淵小 3、新田小 1 （計 19 名）

＜時間設定＞

- ・低学年は 2 時間 30 分で「ちょうどよい」が大半。高学年は 3 時間で「短い」が 3 分の 1 「ちょうどよい」が 3 分の 2 という結果。高学年にとっては若干短かったと思われる。

＜教室の内容＞

- ・8 割が「わかりやすかった」、残りの 2 割が「ふつう」を選択していた。

＜宿題の達成度＞

- ・8 割が「できた」、残り 2 割が「できなかった」を選択。「時間が短い（3 分の 1）」と感じた人数との整合が取れていると思われる。

＜絵の上達＞

- ・「上手になった」は約 4 割に留まり、「参考になった」が約 6 割を占めた。今年は自分の納得する絵が書けなかった子が多かったようだ。

＜教室の印象＞

- ・「よかった」以上で 100%であった。（平均は 92.16%）

＜教室の状況＞

- ・教室の中では、講師が室内を巡回しながら、手が進まない子に助言したり、拳手した子どもたちの質問に答えるなど、元校長先生とあって的確に指導していただいた。

＜来年度以降の可能性＞

- ・「詩季彩クラブ」はメンバーの高齢化のため、協力できるのは今年が最後だと言われた。来年度以降は、比較的若い同会会員に対して個別に依頼する方法で、絵画教室を継続できるか、同会の会員と相談してみたい。

（以 上）

